

令和3年度（2021年度）
ハッピー（8%）ごみ減量^{げん}プラン
～第4次豊中市ごみ減量計画～
事業等報告書 確定版

令和5年（2023年）3月

豊中市 環境部 減量計画課

第1章 第4次豊中市ごみ減量計画の概要

(1) 計画の概要

第4次豊中市ごみ減量計画では、「廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」及び「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画」の理念をふまえ、具体的なごみ減量の取組み内容及び実施スケジュールを掲げています。

ごみ減量を進めるためには、物が生産、販売、消費され、廃棄、処理、資源化されるまでの一連の流れに関わるあらゆる人が、お互いを理解し、協力しながら減量行動を実践していく必要があります。このため、「第4次豊中市ごみ減量計画」では、行政の取組みだけでなく、市民や事業者に求められる役割と行動を示すほか、市民・事業者・行政の三者が連携して行う取組みを含めた内容となっています。

また、具体的な取組み内容のうち、とりわけ優先的に実施すべき取組みを定め、実効性を高めるとともに、成果を測定する「モニター指標」を設定し、PDCAサイクルに基づく進行管理を行います。

(2) 計画期間

平成30年度（2018年度）～令和9年度（2027年度）

(3) 基本姿勢

ア 基本理念

協働で取り組む循環型社会の構築

イ 基本方針

循環型社会の構築に向けた取組みを進めます

ウ 基本施策

1. 廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクル（再生利用）の推進
2. 廃棄物の適正処理の推進
3. 美しいまちづくりの推進
4. 災害廃棄物の適正処理

(4) 減量目標

減量目標

ごみの焼却処理量を令和9年度(2027年度)には
平成28年度(2016年度)実績より8%削減します

■■■ 焼却処理量^{※A}の削減 ■■■

【現状(平成28年度(2016年度))】

ごみ焼却処理施設に、余力を持って処理できる量を上回るごみが搬入されている 約104千t(実績)

【中間目標年度(令和4年度(2022年度))】

まずは、ごみ焼却処理施設で余力を持って処理できる量に削減する 約99千t(4%減)

【最終目標年度(令和9年度(2027年度))】

さらに、大阪府内自治体の上位水準をめざして焼却処理量を削減する 約95千t(8%減)

内 容		令和9年度 (2027年度) 目標値	平成28年度 (2016年度) 実績	令和9年度 (2027年度)における 削減量・率 (平成28年度 (2016年度)比)
個 別 の 目 標	家庭系ごみ1人1日当たり量 (再生資源除く。) ^{※B}	約386 g/人/日	約414 g/人/日	約28g削減
	事業系ごみ量 (再生資源除く。) ^{※C}	約38 千t/年	約43 千t/年	約5千t削減
	リサイクル率 ^{※D}	約19.3%	約15.7%	約3.6%増加

- ※A 豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量
- ※B 豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ搬入量(再生資源を除く)の1人1日当たり量
- ※C 豊中市伊丹市クリーンランドへの事業系ごみ搬入量(再生資源を除く)の年度合計量
- ※D ごみの総量(排出量(再生資源含む))(年度)に対する家庭系及び事業系ごみのうち資源化されるごみの合計量(年度)の割合(民間の自主的回収量を除く)

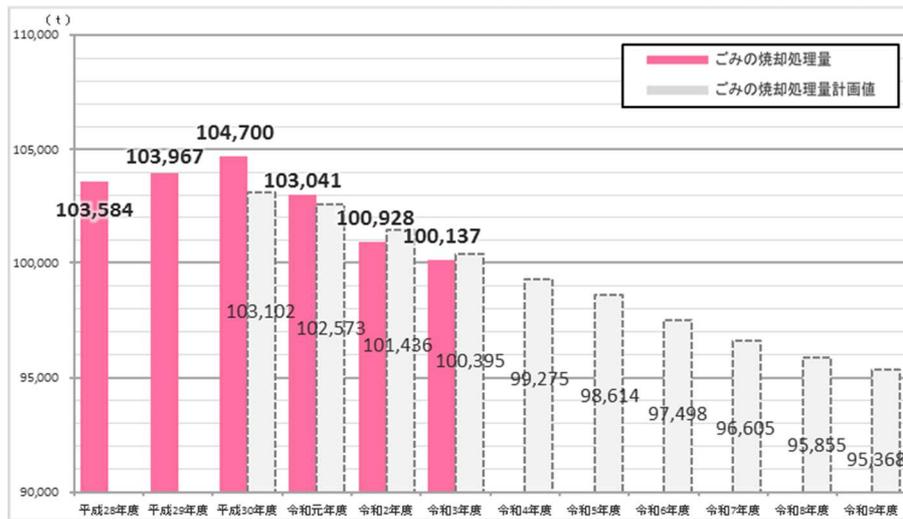
第2章 ごみ減量計画の進捗状況

<令和3年度（2021年度）の成果指標の数値状況について>

		平成28年度 (2016年度) 基準年度	令和2年度 (2020年度) 実績	令和3年度 (2021年度) 実績	令和9年度 (2027年度) 最終目標年度
減量目標	ごみの焼却処理量	103,584 t	100,928 t	100,137 t	95,368 t
	家庭系ごみ1人1日 当たり量 (再生資源除く。)	414 g/人/日	424 g/人/日	419 g/人/日	386g/人/日
個別の数値目標	家庭系ごみ量(参考)	59,838 t	62,086 t	61,365 t	56,345 t
	事業系ごみ量 (再生資源除く。)	43,099t	37,432t	37,244t	38,191t
	リサイクル率	15.7%	16.0%	16.3%	19.3%
	再生資源の量(参考)	19,610t	19,563t	19,762t	23,987t

(1) ごみの焼却処理量

ごみの焼却処理量
 令和2年度 791トン減 100,928トン
 令和3年度 100,137トン



・ごみの焼却処理量・・・豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量

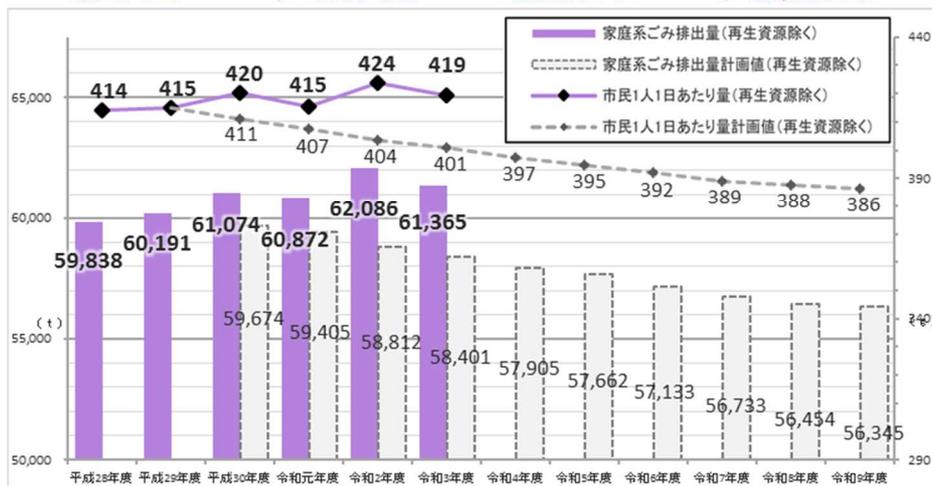
要因分析

「ごみの焼却処理量」は、令和2年度（2020年度）と比較して約791トン減少しています。これは、継続する新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業系ごみは引き続き減少し、家庭系ごみにおいても、新たな生活様式が徐々に定着化しつつある中、発生抑制及びリサイクル率の向上等によりその排出量が減少したことが要因と推察されます。

(2) 家庭系ごみ1人1日当たり量・家庭系ごみ量

家庭系ごみ1人1日当たり量
 令和2年度 5グラム減 424グラム
 令和3年度 419グラム

家庭系ごみ量
 令和2年度 721トン減 62,086トン
 令和3年度 61,365トン

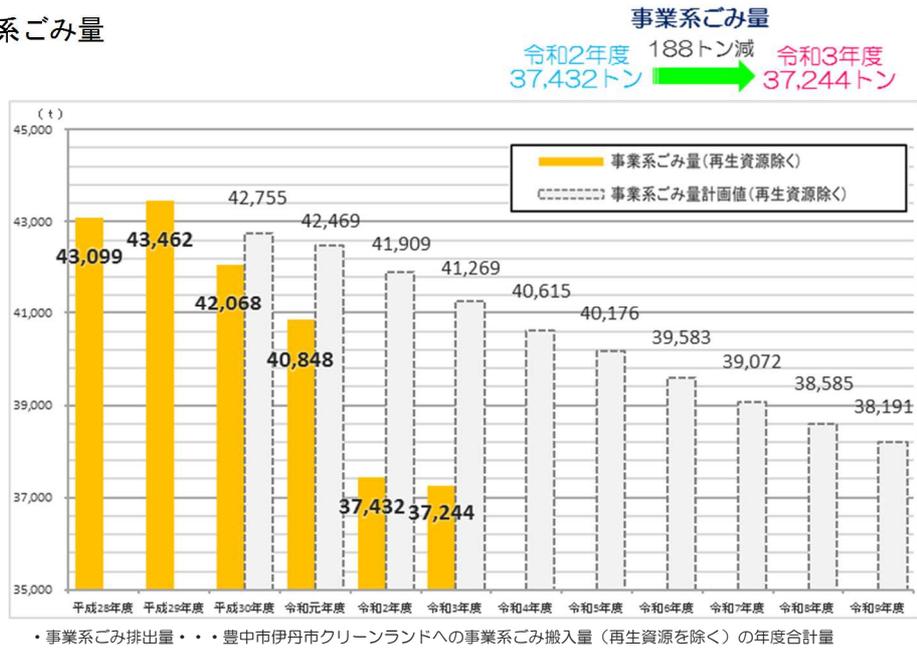


・家庭系ごみ1人1日当たり量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ（可燃・不燃・粗大ごみ）搬入量（再生資源を除く）の市民1人1日当たり量
 ・家庭系ごみ量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ（可燃・不燃・粗大ごみ）搬入量（再生資源を除く）の年度合計量

要因分析

「家庭系ごみ1人1日当たり量」及び「家庭系ごみ量」は、令和2年度（2020年度）と比較して減少しています。これは、継続する新型コロナウイルス感染拡大の影響により、在宅機会は流行以前より増えている一方、外出自粛要請などは前年度から緩和され、また新たな生活様式も定着化しつつある中、従来のごみ減量意識が働いたことなどが要因と推察されます。

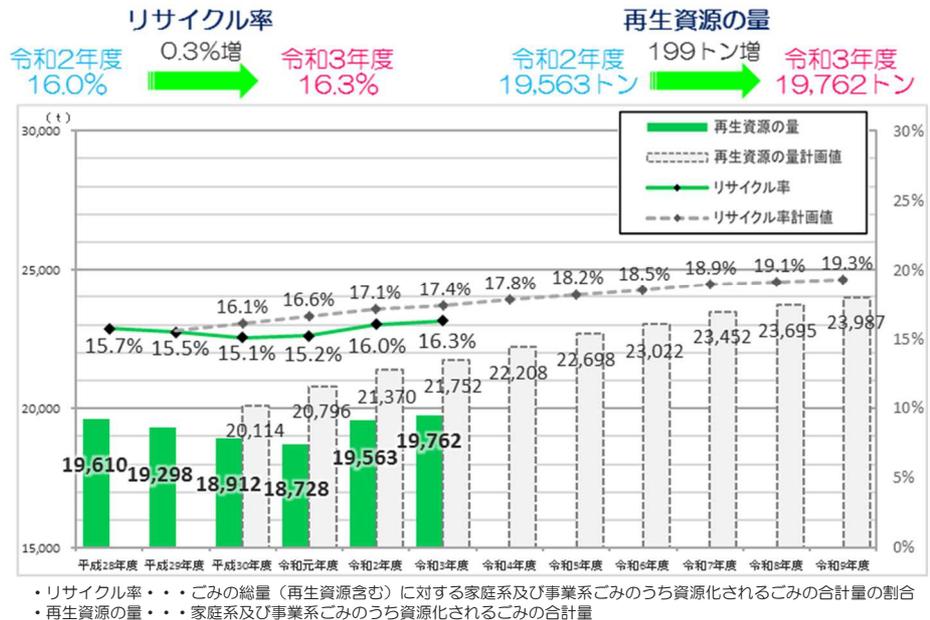
(3) 事業系ごみ量



要因分析

「事業系ごみ量」は、令和2年度(2020年度)と比較して約188トン減少しています。これは、処理施設における搬入物検査の実施等、取組みによる削減効果とあわせ、継続する新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業活動が低迷していることが要因と推察されます。

(4) リサイクル率・再生資源の量



要因分析

「リサイクル率」は、令和2年度(2020年度)と比較して約0.3%増加しています。これは、継続する新型コロナウイルス感染拡大の影響により、宅配・テイクアウトの利用機会が増加している中、容器包装類の排出量と協力率が上昇したことが要因と推察されます。

第3章 廃棄物減量等推進審議会評価と市民意見等 それに対する市の考え方

(1) ごみの焼却処理量

審議会評価

- 当年度の目標値を達成していますが、新型コロナウイルス感染拡大による一時的な減少であることが想定されるため、今後の動向を注視しつつ、引き続きごみの削減に取り組む必要があります

市民意見

- 減少が進む事業系ごみに対し、家庭系ごみの削減が難しそうに見える。家庭生活における発生抑制、再利用、再資源化に向けた継続した周知が必要である。

市の考え方

- 令和4年度（2022年度）における「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画」及び「第4次豊中市ごみ減量計画」の中間見直しにおいては、コロナ禍における家庭系ごみの増加と事業系ごみの減少を受け、それぞれの個別の数値目標を再設定するとともに、社会経済状況の動向を踏まえ、より効果的なごみ減量施策について検討しました。さらなる発生抑制、再利用、再生利用の推進に向けては、改定した計画に基づき、情報発信の強化や事業者等との連携など、新しい媒体やスキーム等を積極的に取り入れながら、今後も様々な角度から取組みを推進していきます。

市民意見

- ごみの減量は、市民と一体となって推進していく必要がある。

市の考え方

- ごみの減量は市民・事業者・行政が一体となって進めていくことが大切です。それぞれの主体が目的を共有し、連携を図りながら取組みを推進していきます。

(2) 家庭系ごみ1人1日当たり量・家庭系ごみ量

審議会評価

- コロナ禍が続き、生活様式の変化に伴う家庭系ごみの増加に対応するため、食品ロス削減推進計画に基づく施策の推進や、更なる発生抑制・再資源化につながる家庭での取組み等についての継続した周知・啓発が必要です。

市民意見

- 食品ロス問題は消費者に浸透しつつあるが、継続した周知啓発が必要である。

市の考え方

- 令和4年(2022年)3月に策定した「豊中市食品ロス削減推進計画」に基づき、令和4年度(2022年度)はYouTubeを活用した周知動画の配信や事業者と連携した「手前どりキャンペーン」などを実施しました。今後も継続した周知啓発や多様な主体と連携した取組みを推進していきます。

市民意見

- 数値の羅列ではごみ減量についてイメージしにくい。どれだけ減らせば、どんなメリットがあるのか具体的に表現するなど、市民にわかりやすく提示して欲しい。

市の考え方

- 毎日どの程度のごみを減らせば目標に近づくのか、なぜその量を減らさないといけないのか、その具体的な方法等について、幅広い世代の方にご理解いただけるよう、分かりやすい報告書作成や情報発信に努めていきます。

(3) 事業系ごみ量

審議会評価

- 今後の事業活動の活発化により、事業系ごみ排出量の増加が予測されることから、引き続きごみの削減に取り組む必要があります。

市民意見

- 事業系ごみの減少は、コロナ禍の影響だけでなく、事業者の意識的な SDGs への取り組みの効果も表れた結果だと感じる。

市の考え方

- 本市は令和 2 年（2020 年）に SDGs 未来都市に選定されました。事業者、団体、教育機関等とともに取り組みを推進していくために創設された「豊中 SDGs パートナー登録制度」に登録されている多くの事業者等において、食品ロスやプラスチック製品の削減、再使用など、ごみ減量につながる取り組みを実践していただいております。それらが事業系ごみの減量に寄与していると認識しています。今後も効果的な情報発信や情報共有の機会創出等により、事業者の皆さんがごみ減量に取り組みやすい環境づくりを推進していきます。

市民意見

- 豊中エコショップの取り組みや消費者としてとるべき行動について知りたい。良い制度なのでもっと PR するとよいと思う。

市の考え方

- 豊中エコショップは、環境のことを考え、ごみの減量につながる 3R（発生抑制・再使用・再生利用）や省エネなどに積極的に取り組んだり、環境に配慮した販売方法・サービスの提供を行ったりしているお店のことで、各店舗の具体的な取り組みを市ホームページやガイドブック等で紹介しています。令和 4 年度（2022 年度）は、デジタル地域ポイントを活用した周知 PR にも取り組み、多くの市民の方にエコショップをご利用いただきました。エコショップを積極的に利用することは、環境に関する社会的課題の解決につながります。今後も多様な媒体やシステムを活用した周知 PR を実施し、豊中エコショップ制度の活性化に取り組んでいきます。

(4) リサイクル率・再生資源の量

審議会評価

- 発生抑制・再使用の考え方を優先しつつ、更なる適正分別・排出に向け、継続した周知・啓発が必要です。

市民意見

- リサイクル率を上げたいが、分別誤りが多くみられる。

市の考え方

- リサイクルにつながる適切な分別排出の促進に向け、幼少期からの環境学習や出前講座の実施、広報誌やLINEのチャットボット、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」等の多様な広報媒体を活用した周知啓発等による意識醸成に取り組んでいます。また、事業者と協定を締結し、不要品のリユース促進や使用済み小型家電の宅配回収によるリサイクル促進にも努めているところです。今後もさらなる分別排出の適正化に向け、取組みを推進していきます。

市民意見

- 家庭系ごみには、紙など、まだまだ資源化できるものが含まれている。分別の徹底や台所ごみのたい肥化など、一人ひとりが手間を惜しまず意識的に取り組むことでごみの減量につながると思う。

市の考え方

- ごみの減量を推進するためには、一人ひとりが自分事としてその必要性を認識し、各家庭において小さくてもできることから取り組んでいくことが大切です。今後も家庭で実践できる具体的な取組みについて、情報発信や機会の創出に努めていきます。

第4章 モニター指標

(1) 市民・事業者・行政の協働による循環型社会の構築

ア 環境学習・教育の充実

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：平成28年度実績）	令和3年度実績
1	全公立全小学校・認定こども園環境学習実施件数（件）	幼少期からの環境学習によるごみの減量を図る	公立小学校全校 公立認定こども園全園 ----- 公立小学校全校実施 41件 公立認定こども園 実施件数 24件	公立小学校 実施件数 35件 公立認定こども園 実施件数 6件
2	廃棄物減量等推進員の環境学習への参加人数前年度比増（人）	地域における環境学習へ参加	前年度比増 （令和2年度実績：0人） ----- 環境学習参加者数 11人	0人

イ 環境配慮型販売システムの推進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：平成28年度実績）	令和3年度実績
3	豊中エコショップ認定店舗の新規認定件数（件）	エコな取組みを実施する事業者の増加とその店舗を利用する市民への周知	新規認定件数 20件 ----- エコショップ認定店舗件数 105件	20件 ----- 174件
4	意見交換会参加人数（人）	エコショップにおける事業者間の情報共有や連携	参加人数 50人 ----- （実績なし）	42人

ウ 食品ロスの削減に向けた取組み

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：平成28年度実績）	令和3年度実績
5	イベント開催数（回）	市民等にイベントを通じて取組みを周知	イベント開催数 4回 ----- 食品ごみを減らすための各種学習会、講習会、セミナー等開催数 5回	7回
6	認定こども園等年長児の保護者への冊子等の配布人数（人）	環境学習の対象者及びその保護者への周知	認定こども園等年長児の児童数（全児童） ----- （実績不明）	3,563人
7	認定こども園等年長児への絵本等の配布人数（人）	環境学習の対象者への周知	認定こども園等年長児の児童数（全児童） ----- （実績不明）	3,563人

エ 3Rに取り組む市民活動団体やグループ活動等との連携強化 （指標なし）

(2) 家庭系ごみ減量等に関する取組み

ア 地域での3R活動の活性化

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：平成28年度実績)	令和3年度実績
8	廃棄物減量等推進員活動参加人数 (人)	廃棄物減量等推進員の活動への参加を図る	活動参加人数 前年度比増 (令和2年度実績：146人) ----- 廃棄物減量等推進員を対象とした研修会、フォーラム等への参加人数 213人	181人

イ 発生抑制・再使用の推進

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：平成28年度実績)	令和3年度実績
9	マイバッグ持参率 (%)	マイバッグ持参率向上による可燃ごみ、プラスチック製容器包装の発生抑制	マイバッグ持参率 80% ----- マイバッグ持参率 47.4%	84.2%
10	リユースイベント開催数 (回)	ごみとなるものを再使用することによりごみの減量を図る	リユースイベント開催数 2回 ----- 2回 (子ども服リユースイベント)	4回

ウ 再生資源集団回収の推進

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：平成28年度実績)	令和3年度実績
11	新規登録団体数 (団体)	地域での3R活動の活性化を図る	新規登録団体数 20団体 ----- 新規登録団体数 29団体	5団体

エ 多様な再生資源回収方法の構築

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：平成28年度実績)	令和3年度実績
12	リサイクル率 (%)	回収拠点を増やす等により、リサイクルを促進する	当該年度の目標率 17.4% ----- リサイクル率 15.7%	16.3%
13	堆肥化に係わる講座の受講者数 (人)	生ごみの堆肥化を促進することによる可燃ごみの減量	講座の受講者数 前年度比増 (令和2年度実績：8回122人) ----- 生ごみ堆肥化講習会 受講者数 64人	17回 180人

オ 適切な分別排出の浸透

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：平成28年度実績)	令和3年度実績
14	出前講座等開催回数 (回)	排出者へごみと再生資源の分け方、出し方の知識を高める	出前講座等実施回数 前年度比増 (令和2年度実績：2回) ----- 出前講座、地域説明会の開催数 10回	1回

カ 家庭系ごみ有料化の検討

(指標なし)

(3) 事業系ごみ減量等に関する取組み

ア ごみ減量に向けた情報提供

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：平成28年度実績）	令和3年度実績
15	業種別研修会開催数（回）	事業者の業種別に研修を行い、業種の特性に応じたごみの減量を促す	業種別研修会開催数 1回 ----- 事業者対象研修会開催数 1回	1回

イ 多量排出事業所におけるごみ減量の促進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：平成28年度実績）	令和3年度実績
16	立ち入り調査件数（件）	対象事業所の適切な分別と再生資源の増加を図る	立ち入り調査件数 77件 ----- 立ち入り調査件数 72件	0件
17	訪問調査・該当事業者 評価B以上の事業者の割合（%）	立入評価のランク付けによる評価を向上させ、ごみの減量を図る	訪問調査・該当事業者 評価B以上100% ----- (実績なし)	実績なし

ウ 搬入物調査の活用

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：平成28年度実績）	令和3年度実績
18	搬入物調査回数（回）	焼却施設等に搬入されるごみを適正に搬入するよう促す	搬入物調査回数 16回 ----- 搬入物調査回数 12回	14回

エ 中小規模事業者における分別排出の促進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：平成28年度実績）	令和3年度実績
19	リニューズの発行回数（回）	事業者にごみ減量を促す情報を発信	リニューズの発行回数 2回 ----- リニューズの発行回数 2回 (7月・12月)	2回
20	再生資源共同回収事業及び機密文書溶解参加事業所数（件）	事業者の紙ごみの減量を促す	再生資源共同回収事業及び機密文書溶解参加事業所数 前年度比増（令和2年度：100件） ----- 再生資源共同回収事業及び機密文書溶解参加事業所数 95件	97件

オ 食品廃棄物のリサイクル推進指導の強化

（指標なし）

カ イベント系ごみの発生抑制及び再使用の推進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：平成28年度実績）	令和3年度実績
21	分別促進用具貸出利用回数（回）	イベント等におけるごみの減量を促す	貸出利用回数 8回 ----- 貸出利用回数 3回	2回

キ ごみ処理費用負担の適正化

（指標なし）

(4) 廃棄物の適正処理の推進 (3R の推進関連部門)

ア 時代の要請に応じた分別収集体制の推進

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：平成 28 年度実績)	令和 3 年度実績
22	リサイクル率 (%)	回収拠点を増やす等により、リサイクルを促進する	当該年度の目標率 17.4% リサイクル率 15.7%	16.3%
23	委託業者調整会議開催数 (回)	委託業者と連携し、ごみの減量を図る	委託業者調整会議開催数 12 回 委託業者調整会議開催数 13 回	12 回 ※書面開催
24	新規介護事業者への周知件数 (件)	高齢者等への支援として、ふれあい収集事業を周知し、ごみの分別排出を図る	新規介護全事業者 新規介護事業者への周知数 19 件	0 件

イ 安定した中間処理施設等の運用

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：平成 28 年度実績)	令和 3 年度実績
25	焼却処理量 (t)	ごみ処理施設における可燃ごみの削減	当該年度の目標値 100,395 t 焼却処理量 103,584 t	100,137 t
26	ごみ処理施設との協働による環境学習・見学会実施件数 (件)	幼少期からの環境学習によるごみの減量を図る	環境学習・見学会実施件数 環境学習・見学会実施件数 5 件	7 件
27	最終処分量 (t)	ごみの減量による最終処分場の延命化を図る	最終処分場の前年度比減 (令和 2 年度実績：13,575 t) 最終処分量 14,290 t	12,780 t

令和3年度（2021年度）

ハッピー（8%）ごみ減量^{げんりやう}プラン～第4次豊中市ごみ減量計画～
事業等報告書 確定版

発行日：令和5年（2023年）3月

編集・発行：豊中市環境部減量計画課

〒561-0891 豊中市走井2丁目5番5号

電話：06-6858-2279

ファクス：06-6843-3501